【2020年4月17日夜のテレビ各局の報道番組の論点別報道の比較】

③ 生活困窮者への30万円給付案から一律10万円給付への変更について

|  |  |
| --- | --- |
| NHKニュース７ | ＊「混乱を招いたことはお詫びする。緊急事態宣言を全国に拡大し、国民みんなでこの状況を連帯して乗り越えていくということの中において判断した。手続きは郵送やオンラインで迅速に、感染のリスクを避けながら行うことにした」という安倍首相の発言を紹介＊また、麻生財務相が「できるだけ迅速に、5月には始めたい」と語ったことを紹介＊続いて、スタジオで岩田明子記者が安倍会見の発言を踏まえ、10万円の早期給付が重要と指摘、麻生氏ができるだけ早く、5月にはと語ったことを紹介。また、スピード感とともに感染防止も重要との観点から、政府は郵送、オンラインでの手続きを採用したことを紹介 |
| NHKニュースウオッチ9 | ＊安倍首相の会見での発言を手短に伝えた。その中で、10万円給付に加え、納税や社会保険料の納付を猶予すること、7都府県に対し、政府が物資をプッシュ型で配布すると語ったことも紹介。その後、麻生財務相が「給付は自己申告に基づいて行われる」と発言したことを紹介 |
| テレビ朝日報道ステーション | ＊安倍首相の会見での発言（NHKニュース7と同様）を手短に伝えた後、　ナレーションを挟んで立憲民主党の安住氏の批判、自民党内の不満を紹介＊立憲民主党国対・安住氏のコメント「一番上のリーダーが朝令暮改をやったら、何を信じていいのか、わからない」＊与党内「一度は総理のところで30万円と打ち出したじゃないか。もともと10万円は自分たちが訴えてきたのに、なんで公明党の手柄みたいになるんだ」＊公明党内「公明党に言われたから変えたではメンツが立たないから、緊急事態宣言の全国拡大で全国民が大変な思いをしているからと公明党も総理の大英断で決まったことにした」（この後、2009年に行われた国民1人当たり1万2000円の定額給付との違いを取り上げた）＊麻生氏「あの時はこちらの方から決めて一方的に一律給付ということにした。今回は手を挙げていただいた方に給付する。」「富裕層の方はこういう非常事態だと受け取らない人もいるんではないか。私の友人に聞いた話では『俺たちこういうの、もらっちゃあ、いかんのじゃないか』という人は何人かいた」　「一人所帯の家庭だと30万円くるはずのものが10万円になるところも出る」　「スピードを持ってやるのが一番大事なので、できるだけ早く5月にはという感じでいる」（この後、政府案の限界についてスタジオ討論）＊小木キャスター「店を閉めている方など、まだまだ足りないという声もありますよね」＊野村修也「職を失って家賃を払えない人には生活困窮者自立支援法に基づく住居確保給付金がある。今回、政府はこの規則を改正して、職を失っていなくても、コロナ不況で急激に所得が減った人も使えるようにした。フリーランスの人も使えるので利用してほしい」＊小木「この制度で救済されるのは個人。お店を持っている人、テナント料を払わないといけない人までカバーされていない？」＊野村「今の法人税では、オーナーが減免した場合に控除される制度。オーナーとの交渉次第となっているので野党の中ではテナント料の支払いを免除するよう検討が進んでいる」 |
| TBSニュース23 | ＊10万円はいつ届くのかを中心に議論リーマンショック後の給付の場合は3ヶ月かかったと説明したうえで、安倍首相は手続きを簡素化し、市町村の窓口ではなく、郵送やオンラインで出来るだけ早く渡したいと語ったことを紹介＊これについて麻生財務相が「今回は要望された方に手を挙げていただくことになるので、富裕層の方はこういった非常事態に受け取られない方もいるんじゃないか、私の友人に聞いた話では『俺たちこういうの、もらっちゃあ、いかんのじゃないの』という人は何人かいた」と発言したことを紹介＊その後、スタジオで游佐勝美・TBS報道局政治部長が解説　「30万円給付案は特に評判が悪く、公明党が連立離脱しかねない決意で10万円給付案を受け入れさせた。しかし、国会提出の予定が決まっていた補正予算案を振り替えるのは極めて異例。そのため、1週間、手続きが遅れることになった」　「安倍首相は10日前の記者会見で一律給付は3ヶ月くらいかかってしまうと言っていた。どうやって1ヶ月以内に短縮できるのか、国民に分かりやすい説明が必要」 |
| 醍醐コメント | ＊NHKが安倍首相の発言をほぼそのまま伝え、麻生財務相が、皮肉混じりに一律給付に異議をにじませたとも取れる発言をしたことは触れないか（ニュース7）、さらっと伝えただけ（ニュース・ウオッチ9）なのに対し、報道ステーションとニュース23は麻生発言を、肉声を交えて、目に付く形で伝えたのは好対照だった。＊報道ステーションが立憲民主党の批判、公明党内や自民党内の本音を拾う形で、またニュース23は政治部長の解説の形で、給付方式の変更のぎくしゃくぶりを伝えたのも、NHK、ニュース23には見られない点だった。＊報道ステーションが野村修也氏の解説という形で、10万円一律給付ではカバーできない家賃、テナント料の支払いに窮する人々の実情を取り上げ、具体的な制度改革案を示したのは有意義だった。 |